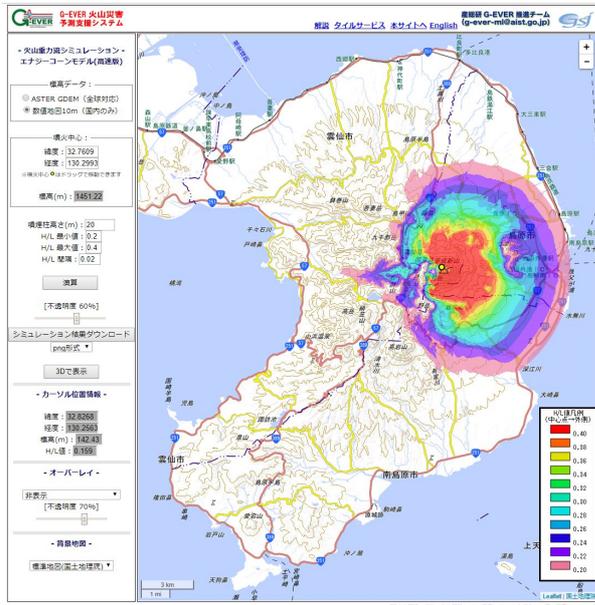


- 火山重力流シミュレーション - エネルギーコーンモデル(高速版)



雲仙普賢岳付近を中心にした
シミュレーション例

このアプリケーションでは、エネルギーコーンモデルを用いて、火砕流や溶岩ドーム崩壊などの被害範囲を瞬時に計算できます。

<http://g-ever1.org/quick/>



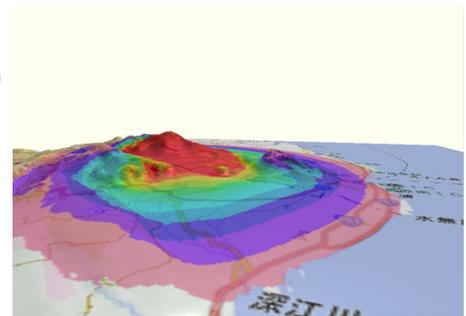
特徴1 シミュレーション結果を高速表示

例えば噴火中心●をドラッグ&ドロップで移動すると瞬時に再描画します。

特徴2 シミュレーション結果を3Dで表示

左のサイドパネルの **3Dで表示** を押すと、3Dで表示できます(日本国内のみ)。

雲仙のシミュレーション結果を南東方向から見下ろした場合の3D表現



エネルギーコーンモデル

エネルギーラインモデルを360度回転させて全方向に適用したモデルです。エネルギーラインモデルでは、スタート地点で持っていた位置エネルギーが流走中に少しずつ失われて最終的に位置エネルギーが0になって停止すると考えます。その減衰率は一定であると仮定すると、スタート地点から停止地点までを結んだ線がエネルギーの減衰を表す”エネルギーライン”になります。

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 地質情報研究部門 シームレス地質情報研究グループ